

# 吉川小学校 教育目標

## 1-1. 本校教育の目標

よ	よくまなび	よくあそぶ学校
し	しっかり	ともだちをささえあう学校
か	からだ	こころをきたえる学校
わ	わらいと	ゆめのある学校

### ともに、よく学び、よく遊び、たくましく生きる子ども

憲法ならびに教育基本法の精神に則り、児童の実態や地域の課題をふまえて、本校教育の目標を、「ともに、よく学び、よく遊び、たくましく生きる子ども」の育成におき、民主的で、豊かな校風づくりと、積極的な責任感、連帯性を重んずる子どもを育てる。

## 1-2. めざす児童像

### (1) 健康でたくましい子ども

- ・健康や安全に気をつけて、元気に遊び、元気に運動する。
- ・最後まで集中してやりとげる、強い体と心を養う。

### (2) なかまと共にがんばり、努力する子ども

- ・みんなで決めたルールを守り、力を合わせて行動する。
- ・思いやりの心を持ち、人との交わりを大切にする。

### (3) 深く考え、すすんで行動する子ども

- ・一人ひとりが自分の考えを持ち、いきいきと楽しく学習にとりくむ。
- ・目標をもって、「わかろう」「できるようになろう」と努力する。

## 1-3. めざす学校像

社会の変化に主体的かつ柔軟に対応できる調和のとれた児童の育成を、地域・保護者ととともにめざす。

保幼小中一貫教育及びとよの教育を見据えつつ、吉川の財・材を生かして

### 「よしかわの教育」の再構築

- 「よしかわ」の特徴を生かした
- 「よしかわ」だからこそできる
- 「よしかわ」しかできない
- 「よしかわ」を誇りに思える

## 1-4. 本年度の教育の重点

目標達成のため全教職員が共通理解を深め、相互に信頼し合い、一致協力して学校運営・学校経営に参加する。また、規模の小さな学校の利点を生かし、学年の垣根を低くした全校での交換授業など協働指導体制を推進する。

### (1) 学習指導要領を踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、それらを活用し学び考える力と将来社会人として自立するための力である「確かな学力」を育むため、さらなる授業力の向上に努める。

- ・児童の習熟の程度に応じた指導を推進する。
- ・吉小タイムに取り組み児童の学力向上に努める。
- ・児童にとって「わかる授業」「魅力的な授業」をめざしていく。
- ・読書活動の推進に努める。(朝読書、学校図書館の積極的な活用、家での読書の推奨)
- ・授業力の向上に努める。(校内授業研究、ミニ研修、外部助言者を招聘など)

- ・授業時数を確保する。
  - ・児童・保護者・教職員の授業評価を実施し、授業改善に生かす。
  - ・キャリア教育の視点にたって、教育活動を行う。
- (2) 子ども一人ひとりを大切に、認め合う学級づくりを進める。
- ・道徳教育を要として生徒指導の集団指導体制、学級集団づくりの情報交流など、学級の課題、学級経営の目標を明確にした学級づくりをすすめる。
  - ・不登校に対しては、SSWやSCの助言を受ける等、チームによる支援のとりくみを行う。
  - ・支援教育の充実を図り、子ども一人ひとりにきめ細かい支援を行うと共に、ユニバーサルな授業を研究する。
  - ・通級指導教室の有効な活用を図る。
- (3) 吉川小学校「いじめ防止基本方針」に則り、いじめ防止に努める。
- ・いじめは重大な人権侵害事象であるという認識に立つとともに、吉川小学校「いじめ防止基本方針」に則ったとりくみをすすめる。
- (4) 地域を知り、地域を調べ、地域に学ぶ「よしかわ学」を「とよの未来科」へつなげる。
- ・地域学習・地域自然学習など、「よしかわ学」で培ってきたことを「とよの未来科」へつなげる研究・実践に取り組む。
  - ・「とよの未来科」の目標、子どもたちに付けたい資質・能力を踏まえて、キャリア教育を踏まえた高学年のカリキュラム等の充実を図る。
  - ・吉小サポーターと連携を図りながら、学びの多様化を図る。
  - ・「総合的な学習の時間」では、体験的な学習に取り組み、各教科で身につけたことを探求的な活動や学びに結びつけていく。
- (5) 基本的な生活習慣・食習慣を身につける。
- ・自分の健康に関心を持ち、進んで健康的な生活を送る習慣や態度を育てる。
  - ・作物作りを通して食への感謝、食の重要性、食文化など体づくりと共に学びを深める。
  - ・歯・口の健康づくりについて、家庭・地域と連携したとりくみを推進する。
- (6) 積極的に開かれた学校づくりに努める。
- ・保護者をはじめとする地域住民の信頼に応え、地域と連携して教育活動を展開する。
  - ・授業参観、学校公開、行事への招待、学校教育自己診断「やまびこ」、学校教育保護者説明、学校協議会の運営、ホームページや自治会回覧等、積極的に情報を発信する。

## 1-5. その他の課題ととりくみ

- ① 学校・地域・家庭との協働した教育を推進し、「教育コミュニティ」の発展に努める。
- ② 吉小サポーター制度の持続可能な運営の在り方を図る。
- ③ 児童の安全確保とその対策の強化を図る。
- ④ 警察等関係機関と連携し、防犯実践訓練を実施する。
- ⑤ P T Aや地域と協力して安全対策の充実を図る。
- ⑥ 地域と連携し、地域の理解を深める。
- ⑦ 地域に開かれた教育活動と説明責任の推進を図る。(学校評価、学校協議会の効果的運用)
- ⑧ P T A、青少年育成協議会等地域団体と連携し、児童の安全・安心の確保に努める。
- ⑨ 学級懇談、親睦会等を充実し、保護者と教師の交流・連携を深める。(感染症対策に依る)
- ⑩ 保・幼・中との連携を密にし、連続した教育が行えるよう情報の共有に努力する。
- ⑪ P D C Aを念頭において吉小の教育を推進する。
- ⑫ 教職員の研修を充実させ、子ども、教材、指導方法の研究を積極的に行い、指導力を高める。